

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	宮崎県		代表者名	知事 河野 俊嗣	
担当者部署	総合政策部		連絡先電話番号	0985-26-7046	
担当者役職	主査	担当者氏名	小牧 信也	連絡先E-mail	
住所	880-8501 宮崎県宮崎市橋通東2丁目10番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	前田 みゆき
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	本県における状況や最新の国の動きを踏まえ、これから先システム標準化・共通化を進めていく上で必要な取組の中でも、ポイントを押さえた講演を実施いただけた。
アドバイザーへの要望事項	特にございません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年8月29日	講演(実地)	有	令和5年8月14日	843
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年9月28日	講演（実地）	15時00分	17時15分	
				活動時間（分）	135
3-2. 派遣場所	会場名	宮崎県庁防災庁舎74号室	最寄駅	宮崎駅	
	所在地	宮崎県橋通東2丁目10番1号	最寄駅からの交通手段	バス	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	--------------------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	県職員、市町村職員、支援事業者	60人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	各市町村令和7年度末に向けて、システム標準化・共通化の取組を進めているところであるが、国が想定するスケジュールに対し、遅れがみられるところである。取組を進める中でも、国においてはガバクラ移行手順書の作成や、各種仕様書の改版などが行われており、遅れの取戻しの為にも、これら最新の情報を改めて整理・把握し、ポイントを押さえた取組を進めていくことが重要となっている。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	国が求めるスケジュール感と、各市町村の実状との差を各々の市町村が把握し、最新の動向をしっかりと把握した上で、ポイントを押さえた取組が実施され、結果取組が加速化されること。また、現時点で各市町村が抱える課題について、講演の内容や質疑応答を経て、その課題感が解消されること。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	システム標準化・共通化に関するこれまでの経緯および、自治体での作業として重要な作業となる「文字要件」、「データ要件・連携要件に関する適合確認」について内容の説明や今後の作業イメージ、スケジュール等をお示しいただいた。また、ガバメントクラウドの利用に関する現状やデジ庁における取組、実際にどのような手順で対応していく必要があるのか等をわかりやすく説明いただいた。	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	令和7年度末の標準準拠システムへの移行に向け、市町村での取組自体については、今後活かされるものとする。 県として市町村のサポート事業を展開していくが、文字要件やデータ要件・連携要件に関する適合確認といった部分についての意識が足りなかったところ、今回の講演で改めてこの部分についても考慮に入れた上で、市町村の今後の移行計画策定サポート等を検討していく必要があると認識でき、サポート事業の内容ブラッシュアップに繋がった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	令和7年度末までの長期にわたる取組となるため、すぐに効果がみえるものではないが、国が示すスケジュールに少しでも早く追いつけるよう、取組を進めたい。 なお、各市町村財政的な部分での課題を抱えており、補助金まわりを気にされている状況があるが、この点については解決されていない。見積の精査方法等のIT調達周りについては今後県としてもサポートを実施していきたい。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートという形ではないが、事前に各市町村とシステム標準化・共通化に関する意見交換(費用間、対ベンダとの関係、進捗、課題等)を実施しており、状況を把握の上で講師との事前打ち合わせに臨んでいる。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	令和7年度末の標準準拠システムへの移行。(移行困難システムを除く) ※このためにも、今年度の内に可能な限り国が示すスケジュールに追いつけるようサポートを行っていく。	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

